

【研究開発学校 2年次】
学習語彙の活用を支援し、深い理解を促す授業づくり

～新教科『知の架け橋』の開発・実践を通して～

開催日：2026年10月31日（土）9：30～16：40 対面開催

次期学習指導要領の改訂の議論が進む中、「深い学び」と「多様性の包摂」の実現に向けて検討が進んでいます。
本研究では、「学習言語」でのつまずきが教科内容の理解を妨げることに注目しました。つまずきやすい「学習語彙」の理解を深める視点から、新教科「知の架け橋」を開発しています。また、各教科の授業の中で使われる「学習語彙」に着目した授業づくりを進め、教員の意識と授業の変容を図ろうと考えました。
こうしたアプローチは、外国人児童生徒や帰国生だけでなく、全ての生徒たちの「多様性の包摂」でもあります。教科内容や概念の深い理解を促す授業の実現を目指すことで、生徒が「学習語彙」をさまざまな文脈で使いこなし、実社会でも活用できる力を育むことをねらいとしています。

当日の日程

9:00～	受付開始
9:30～	公開授業Ⅰ
10:40～	公開授業Ⅱ
11:30～	昼食
11:50～ 12:30	・自主研究 ラウンドテーブル 3年生がこれまで探究してきた個人の研究の歩みを、1・2年生との小グループの中で語り、ふりかえります。
13:10～	・教科分科会
15:00～ 16:40	全体会

公開授業Ⅰ

教科	学年	授業名	授業者	助言者
数学	1年 帰国学級	おいしいドレッシングを再現するには？	花村碧	森徹司 横浜市教育委員会
理科	1年	紙で芯を削る ～物理法則の有効性と限界を考える～	山本江津子	森義仁 お茶の水女子大学 名誉教授
英語	2年 帰国混合	Beyond "BECAUSE" ! Step Up to Academic Writing －思考を支える学習語を活用した Collaborative Writingの実践－	林多恵子	西川朋美 お茶の水女子大学 大学院教授
技術・家庭 (家庭分野)	2年	おいしい加減で仕上げよう ～中華定食のコツ～	有友愛子	大竹美登利 東京学芸大学 名誉教授
知の架け橋 (ユニット)	1年	「調べる」を調べよう ～言葉の中身に ひそむ教科の見方・考え方～	渡邊光輝	宮城信 富山大学准教授 西川朋美 お茶の水女子大学 大学院教授

公開授業Ⅱ

国語	2年 帰国混合	【語彙を豊かに】「包む」ってどんな言葉？ ～様々な用例から言葉の輪郭を考える～	藤倉遼介	本橋幸康 埼玉大学教授
社会	3年	私たちと経済 ～価格に着目して「市場経済」をとらえよう～	渡邊智紀	植原智詞 お茶の水女子大学 講師
音楽	3年	《みがかずば》の歴史から学ぶ雅楽 －保育唱歌《学道》の歌唱を体験してみよう－	向田瑞貴	山本美季子 小田原短期大学 助教
美術	1年	思いを伝えるマークデザイン ～形と色彩の意味を深める～	桐山瞭子	春日明夫 東京造形大学 名誉教授
保健体育	2年 女子	柔道「相手を制するには？」 ～抑え技の原理・原則を考える～	佐藤吉高	新名謙二 お茶の水女子大学 教授
知の架け橋 (モジュール)	2年	ジャスト・ワン・ボキャブラリー ～言葉を多面的に捉えよう～	矢野修人	宮城信 富山大学准教授 西川朋美 お茶の水女子大学 院教授

新教科「知の架け橋」

【ねらい】

複数教科にまたがる学習語彙への意識や理解を高め、自在に使いこなすことをめざす

○モジュール型

月1回、全学年で実施する
20分程度の学習活動

○ユニット型

50分×複数時数で取り組む
プロジェクト型の単元

★お申し込みはこちら👉

※参加は教育関係者のみ



<資料について>

事前配布資料は、登録メールアドレスに閲覧用URLをお送りしますので、当日、紙面でのご用意はありません。当日は、学習指導案のみ紙面で配布いたします。

<お問い合わせ>

お茶の水女子大学附属中学校 研究・帰国部主任 宛
メール： chu-koukai@cc.ocha.ac.jp
(お電話でのお問い合わせはご遠慮ください)

※背景のイラストは本校生徒の作品です